



鬼追

奇習

深川熊野神社に出没した三匹の鬼が
招福除災を約束して縦横無尽に大暴れ！



平成23年の新春を迎えた正月7日の夜、末吉の深川熊野神社領域で県の無形民俗文化財に指定されている恒例の「奇習鬼追い」が行われました。

鬼追いは、約1250年来の伝統を持ち、国家安泰や五穀豊穡をもたらすといわれている伝統行事。この鬼は、通常の豆まきなどで追い払われる悪鬼と違い、招福除災の善鬼とされています。毎年、男鬼、女鬼、子鬼の3匹が境内の鬼堂から飛び出し、熊野神社領域を暴れまわります。鬼が暴れれば暴れるほどその年は、無病息災、五穀豊穡になると言われ、鬼が無数に身にまとい、鬼の持つ御幣を奪い、鬼の持つ鬼の手で叩かれた人は今年1年を健康に過ごせると言い伝えられており、これが奇習といわれる由来にもなっています。

当日は、幻想的にライトアップされた境内の竹林の中で「鬼神太鼓」の奉納演奏が行われた後、鬼追いがスタート。半鐘や空砲が激しく鳴り響く中、3匹の鬼は熊野神社領域を縦横無尽に暴れまわり、観衆の前に姿を現すと、御幣を求めて人々が果敢に鬼に群がり、



鬼の手で叩き拒まれながらも御幣をちぎりとついでいました。2回目の参加となった都城市在住の河野玲奈さん（8歳）は、「お婆ちゃんと来ました。鬼は恐かったけど、来年も参加したいです。でも、やっぱり鬼に触るのは怖い。その他にも、鬼神太鼓が格好良かった。自分もこんな場所で、太鼓を叩きたくなりました。」と話してくれました。